

公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

参考書式例037

施設名	新潟市アイスアリーナ（新潟アサヒアレックスアイスアリーナ）		
管理者名	（株）新潟パティネレジャー	指定期間	平成26年2月1日 ～ 平成41年3月31日
担当課	文化スポーツ部スポーツ振興課		
所在地	新潟市中央区鐘木257-17		
根拠法令			
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	敷地面積 9,994㎡ 建築面積 5,440㎡ 延床面積 5,499㎡ 建築規模 鉄骨造地上2階建 主な諸室 メインリンク（30m×60m国際規格）、サブリンク（15m×45m）、 観客席998席（固定席688席・可動席232席・仮設席78席）、選手更衣室、休憩軽食コーナー、 多目的室、おやこルーム、会議室、救護室、事務室		

施設設置目的
<p>市民の健康増進及び氷上スポーツの普及・振興を主な目的にするとともに、市民の交流、地域の活性化を促進し、本州日本海側唯一の通年型氷上スポーツ施設として、スポーツ文化の醸成、市外からの交流人口の拡大を図ることを目的として設置する。</p>
管理・運営に関する基本理念、方針等
<p>（1）施設の利用促進 【課題】 ・施設利用者のニーズに応え、リーズナブルで利便性の高いサービスの提供に努める。 ・施設を有効活用して、さまざまな人々が集い交流できるスポーツ施設とする。 ・障がい者等の利用に配慮し、誰でも気軽に利用できる施設とする。</p> <p>（2）氷上スポーツの普及振興 【課題】 ・氷上スポーツ教室や競技会・イベントの運営、支援、氷上スポーツの普及・振興に積極的に寄与する。 ・校外活動や団体利用を積極的に受け入れ、氷上スポーツの普及に努める。</p> <p>（3）施設が安全かつ快適に利用できる品質、水準の保持 【課題】 ・良質な氷の環境とし、安全で気持ち良く滑走できるリンクとする。 ・施設の環境を良好に保ち、施設利用者の健康被害を防止する。</p> <p>（4）省資源、省エネルギーに努めた管理の実施。 【課題】 ・館内の適切な温湿度管理を行い、省エネによる維持管理費の低減、CO₂排出量の削減に努める。</p>

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	広報の充実	ホームページ等による情報提供を 月2回以上更新	8回更新	A	目標以上の情報提供がなされており評価できる
		ホームページアクセス数 年度内40,000件以上	52,539件	A	目標以上のアクセス数がなされており評価できる
	基準利用者数の達成	施設利用者数(リンク利用者) 年度内22000人以上	45,211人	A	基準を大きく上回る達成を高く評価する。利用者増を期待する
		氷上スポーツ申込者数 300人以上	304人	B	
		校外活動利用数 5団体以上	25団体	A	基準を大きく上回る達成を高く評価する。団体数増を期待する
		団体利用数 10団体以上	14団体	A	目標以上の団体利用数があり評価できる
	基準稼働率の達成	年度内稼働日数59日以上	59日稼働	B	
		専用利用率(利用日数/稼働日数) 95%以上	94.90%	B	
		氷上スポーツ教室 開催数60回以上	51回	C	確実な教室開催増を期待する
	設置目的に合致したサービス提供	送迎バス利用者 2,000人以上	2,508人	B	
		氷上スポーツ教室に継続して2か月以上参加数 150人以上	60人	C	実施期間が2か月のため目標の半分以下となった。
		スケート教室指導員 参加者20人に対し1人以上配置	全教室配置	B	
財 務	エネルギーの効率的な利用	水光熱費を年度内 5,000,000円以下	4,453,889	B	
	管理運営経費の削減	管理運営経費を年度内 7,500,000円以下	38,644,824	C	初年度で開設準備経費が多額となったが、目標を大きく上回っている結果は残念である
業 務	施設・設備に起因する苦情、事故	0件	0	B	
	法令で規定する点検検査の実施	100%	100%	B	
	防災訓練の実施	年度内1回以上	1回実施	B	
	事業計画、事業報告の適切さ	連絡会議月1回以上	月1回実施	B	
	要求水準書	要求水準書等に定める事項の遵守	要求水準以上の業務を実施	B	
人 材	従業員のスキルの習得	職員研修を年度内1回以上実施	1回	B	
	外部研修・講習会の受講	年1回以上受講	1回	B	
	人員条件の充実	氷上スポーツ講師資格者 1人以上	1人	B	
		スケート監視員可能スタッフを10人以上雇用	19人	A	目標以上のスタッフの雇用実績は評価できる
		救護に関する有資格者3人以上	3人	B	
労働基準の充足	労働基準法の遵守	違反行為なし	B		

【評価基準】

- A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている
- B: 要求水準(評価指標)が達成されている
- C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

基準利用者数においては全て目標を達成しており、良い結果で初年度を終えられた。
稼働率において氷上スポーツ教室の回数未達については、カーリング教室等の準備不足が影響している。スケジュール調整や事前準備を徹底して目標を達成したい。
また、氷上スポーツ教室の参加数についても達成したに過ぎない結果である。氷上スポーツの愛好者を増やし施設の利用促進を図るためにも、今後は教室の内容充実を図るとともに、広報活動も工夫し、より多くの参加者に氷上スポーツ教室に参加していただけるよう努力したい。
人材については、今後も継続して人材の育成、スキルの向上に努め、より良い管理体制の確立と、より良いサービスの提供を目標としたい。

所管課による総合評価(所見)

施設利用者数(リンク利用者)は、オープンに伴う周知や同時期に開催されたソチオリンピックの効果があつたこともあり、目標を大きく上回る利用者があり評価できる。
また、氷上スポーツ教室に2か月以上参加するという目標に対して、実績が50%以下となっている点については残念であるが、3月以降の継続参加者は増えており、今後は期待できる。
その他の、評価項目に対しては概ね基準を満たした結果となっている。
今後も、ニーズにあつたサービス提供を行い、利用者数及び満足度を今以上に向上させる取り組みがなされることを期待する。